

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	9 月	18 日	記入者	中西 環
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	益田池の堤				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1975年(昭和55)3月28日				
所在地	橿原市鳥屋町14-1番地				
所有者 管理者	国・奈良県・橿原市				
員数	1基				
時代区分	平安時代				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	有り(県教育委設置と堤址の上にも市・県住宅供給公社による復元図がある)				
公開	見学自由				
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	特になし				
今後の課題	平安時代初期の遺構として残る貴重な史跡。県道133号線戸毛久米線沿い益田池児童公園内にあるものの草が繁茂する時期は意識していないと見落としがち。				
その他 (由緒など)	平安時代初期の灌漑用ため池の治水事業の遺構。弘仁13年に工事に着手したと空海の漢詩文集「性霊集」巻2所収の「大和州益田池碑銘井序(やまとのくにますだいけひめいならびにじょ)」に今は無き益田池の様子とともに記されている。昭和36年4月の河川改修工事の際、川底から桶管が2箇所出土し奈良県橿原市考古学研究所附属博物館に展示されている。(案内板参照)				
コメント	1200年前ほどの遺構と思うと想像力掻き立てられる場所。堤の丘陵址にのぼると往時の大貯水池の面影は無く、ほぼ白樫ニュータウンとなっていますが、古来から早魃を救い実りのある田を益すエネルギーのある場所・・・と思えば隠れたパワースポット。もう少し知名度があってもよさそうに思う。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020年	9月	18日	記入者	中西環
調査者名	石井	中西	橋詰		

文化財名	益田池の堤
------	-------

益田池児童公園入口	説明板
-----------	-----



高取川から望む堤の北端付近(長さ20m)

公園内から望む堤(高さ約8m)



堤の上(幅8m)

堤上にある市・住宅供給公社による復元図

